

指定管理者評価シート

| | | | |
|-----|-----------|-----------|-------------------------|
| 事業名 | 体育施設運営管理費 | 所管課(電話番号) | スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045) |
|-----|-----------|-----------|-------------------------|

I 基本情報

| | | | |
|---------|--|------|------------|
| 1 施設の概要 | | | |
| 名称 | 大和ハウス プレミストドーム | 所在地 | 豊平区羊ヶ丘1 |
| 開設時期 | 平成13年6月 | 延床面積 | 98,232.17㎡ |
| 目的 | 内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与する。 | | |
| 事業概要 | クローズドアリーナ、オープンアリーナ、展望台その他の施設を利用に供すること、及びその他ドームの設置目的を達成するために必要な事業 | | |
| 主要施設 | クローズドアリーナ、オープンアリーナ、サッカー練習場、トレーニングルーム、駐車場等 | | |
| 2 指定管理者 | | | |
| 名称 | 株式会社札幌ドーム | | |
| 指定期間 | 令和5年4月1日～令和10年3月31日 | | |
| 募集方法 | <p>非公募</p> <p>非公募の場合、その理由：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社札幌ドームは、平成13年の札幌ドーム開業時から施設の管理運営を行っており、経営面においても安定した経営を継続している。また、積極的な改良工事を行うなど来場者サービスの向上に努めており、施設の良好な管理が行われていること。 ・株式会社札幌ドームは、プロ野球とプロサッカーをはじめ、2002 ワールドカップサッカー大会、ラグビーワールドカップ2019、東京 2020 オリンピック等の国際スポーツ大会、コンサート、展示会その他の催物に多目的に使用される札幌ドームを公正・中立な立場で様々な利用調整を実施してきた実績があり、これらの施設利用者との継続的な関係を構築している同社の存在が不可欠であること。 ・株式会社札幌ドームは、札幌ドームという公の施設では他に類を見ない大規模な施設を経営するために、本市のほか、民間企業の出資により設立した株式会社であり、開設当初に民間企業からの人材派遣等を受けるなど、札幌ドーム運営のための様々なノウハウを蓄積しており、指定管理を行う団体と施設の関係が密接不可分であること。 ・株式会社札幌ドームは、本市が出資する第3セクターとして、今後見込まれる札幌ドームの多額な保全改修費用の負担に備え内部留保を行うなど長期継続的な視野を持って事業運営を行っているほか、自主事業による収益から積極的に本市に利益還元を行っており、本市としても、長期的な視野を持って札幌ドームを維持していく上で、札幌ドームの指定管理者に対し継続的・積極的に関与する必要があること。 <p>以上のことから、札幌ドーム条例第3条第2項の規定に基づき、札幌ドームの指定管理者については非公募とした。</p> | | |
| 指定単位 | <p>施設数：1施設</p> <p>複数施設を一括指定の場合、その理由：</p> | | |
| 業務の範囲 | 施設維持管理業務、貸館業務(利用料金制度)、イベント実施支援、ドームの利用促進事業、アマチュア大会の実施及び市民利用事業等 | | |
| 3 評価単位 | <p>施設数：1施設</p> <p>複数施設を一括評価の場合、その理由：</p> | | |

II 令和6年度管理業務等の検証

| 項目 | 実施状況 | 指定管理者の自己評価 | 所管局の評価 | | | | | | | | |
|---|---|--|---|---|---|---|---|---|--|--|--|
| 1 業務の要求水準達成度 | | | | | | | | | | | |
| (1)統括管理業務 | <p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼管理運営方針に沿った事業実施</p> <p>施設の設置目的を実現し、指定管理者としての責務を果たすための管理運営方針を以下の通り策定しており、これに基づいた事業活動を実施した。</p> <p>1.施設の設置目的を実現するための適切な平等利用を確保します。</p> <p>2.すべてのお客さまの安全と安心を確保します。</p> <p>3.全天候型多目的施設の魅力と可能性を最大限発揮します。</p> <p>4.健全かつ安定的な経営を継続します。</p> <p>5.更なるサービス向上と地域社会への貢献を目指します。</p> <p>▼「SV-31」及び「中期経営計画2024」に沿った事業実施</p> <p>大和ハウス プレミストーム開業30周年を迎える2031年に向けてのありたい姿として掲げた長期ビジョン『SV-31』の実現に向けて「主催者連携による利益最大化」「多様な価値や変化への対応」「社員の成長・スキルアップ」「親しみのある地域のシンボル」「環境にやさしい企業」「新たな市民文化の共創」という6つの基本戦略に基づき策定した、当事業年度から始まる3ヶ年計画『中期経営計画2024』のもと、事業活動を進めてきた。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼平等利用の確保</p> <p>平等利用を確保するために、統括管理者のもと、札幌ドーム条例及び同施行規則の利用承認基準を遵守すべく、社内規則とシステムを整備し運用している。貸館事業については、利用承認にあたって、条例に則った手続きを一元管理できる独自の貸館システムを構築して運用にあたっているほか、新規の利用希望者については取引先信用調査規程に則って信用調査を実施し、公共に資する利用がなされるように努めている。</p> <p>市民利用事業については、札幌市公共施設予約情報システムを活用するほか、専用の受付電話を設置するなど、市民の公平な利用に注意を払い、業務にあたった。</p> | <p>・管理運営方針とともに、「SV-31」及び「中期経営計画2024」を策定し、その基本方針、基本戦略に基づいて、札幌ドーム設置目的を実現するために、事業を展開した。</p> <p>・平等利用を確保するために、札幌ドーム条例及び同施行規則に則って、社内規則や決裁フローを整備。貸館事業では独自システムの運用、市民利用事業では市システムの運用を行い、公共施設の役割を果たしている。</p> | <table border="1" data-bbox="1236 315 1449 360"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1236 360 1449 1653"> <p>全ての要求水準を達成し、「地球温暖化対策および環境配慮の推進」「要望・苦情対応」の項目については要求水準を超える取組が行われていることから、『A』評価とする。</p> <p>なお、小項目別の評価は以下のとおり。</p> <p>管理運営方針のほか、長期ビジョン「SV-31」及び「中期経営計画2024」を策定しており、その基本方針、基本戦略に基づき良好に施設を管理運営している。</p> <p>札幌ドーム条例、同施行規則等を遵守し平等利用の確保に努めている。</p> </td> </tr> </tbody> </table> | A | B | C | D | <p>全ての要求水準を達成し、「地球温暖化対策および環境配慮の推進」「要望・苦情対応」の項目については要求水準を超える取組が行われていることから、『A』評価とする。</p> <p>なお、小項目別の評価は以下のとおり。</p> <p>管理運営方針のほか、長期ビジョン「SV-31」及び「中期経営計画2024」を策定しており、その基本方針、基本戦略に基づき良好に施設を管理運営している。</p> <p>札幌ドーム条例、同施行規則等を遵守し平等利用の確保に努めている。</p> | | | |
| A | B | C | D | | | | | | | | |
| <p>全ての要求水準を達成し、「地球温暖化対策および環境配慮の推進」「要望・苦情対応」の項目については要求水準を超える取組が行われていることから、『A』評価とする。</p> <p>なお、小項目別の評価は以下のとおり。</p> <p>管理運営方針のほか、長期ビジョン「SV-31」及び「中期経営計画2024」を策定しており、その基本方針、基本戦略に基づき良好に施設を管理運営している。</p> <p>札幌ドーム条例、同施行規則等を遵守し平等利用の確保に努めている。</p> | | | | | | | | | | | |

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼「環境方針」及び「ECO MOTION 2030」に沿った取り組み

平成20年3月に制定した「環境方針」のもと、令和4年度を初年度、令和12年度を目標年(基準年は平成28年度)として第二次の環境目標となる「ECO MOTION 2030」を策定し、脱炭素社会・循環型社会の実現に向けて一層取り組みを進めている。重点的に取り組むべき指針としては「マネジメント体制の推進・法令遵守の徹底」、「脱炭素社会に向けた取り組み」、「循環型社会に向けた取り組み」及び「生物多様性の保全と環境啓発活動の推進」の4つとし、より現状に即した内容としながら未来の子どもたちのために、人と自然にやさしい施設を目指した取り組みを進めている。

なお、数値目標は「脱炭素社会に向けた取り組み」としてCO2排出量の削減と、「循環型社会に向けた取り組み」として一般ごみ排出量の削減の2項目に絞り、札幌市と同様に平成28年度を基準年として、施設運営と脱炭素社会・循環型社会の実現を両立するため一層努力をしていく。

▼各テーマにおける具体的な取り組み及び結果は以下のとおり

＜マネジメント体制の推進・法令遵守の徹底＞

令和3年度までは環境への取り組みの推進を目的として「エコ推進会議」を開催していたが、環境の視点のみならず、SDGs全体の取り組みを一層推進するため、令和4年度からは「SDGs推進会議」という新たな会議体を設置している。

エネルギー使用量や廃棄物排出量の削減、環境意識の啓発などに向け、各部門の環境活動状況の把握と具体的な対応策を検討し、社内に発信した。この会議を通して全社員が当社の担う日々の業務をSDGsと関係付けて行動することで、大和ハウス プレミストドームの一層の付加価値向上に繋げる。

＜脱炭素社会に向けた取り組み＞

[目標]省エネルギーによるCO2排出量の削減

CO2排出量を2016年度より60%削減

(目標年:2030年度)

[結果]

5,525t(前年5,704t、前年対比3.1%削減、基準年対比42.7%削減)

[取り組み]

- ・館内各所空調、自然換気・採光の適正運用
- ・エコキュート及びエコノパイロット等の適正運転
- ・太陽光発電設備の適正管理
- ・アリーナ照明(Jリーグ、場面転換作業等)の緻密な制御
- ・ごみの減容化による輸送効率化
- ・「ドームニュース」「イベントカレンダー」等の広報誌印刷にグリーン電力及び植物油インクを使用
- ・ロードヒーティングの温水温度設定の変更による設備運転の改善
- ・ロードヒーティング稼働エリアの削減
- ・WEB燃料管理サイトを活用した車両の燃費管理
- ・一般照明のエリア及び点灯時間の見直し
- ・節電のため、諸室やバックヤードの照明スイッチ付近に「こまめに節電」掲出

・環境マネジメント体制を確立し、法令遵守のもと、数値目標達成に向けて、多岐にわたる取り組みを実施した。

空調・照明などの緻密な制御と適正運用に努めたことにより、CO2の排出量は前年比3.1%の削減となった。

札幌ドームは大型イベントが開催される施設であるため、エネルギー使用量や廃棄ごみの量については、イベントの開催状況や来場者数の影響を大きく受けるが、施設管理者として、方針を策定するなど、地球温暖化対策及び環境配慮の推進に係る様々な取組を積極的に実施している。特に、重点的に取り組む指針や具体的な数値目標を方針等において定め、関係者で組織する「エコ推進会議」を継続して開催していることに加え、2022年度からは、環境の視点のみならず、SDGs全体の取り組みを一層推進するため、「SDGs推進会議」を開催し、目標達成に向け具体的な取組を実施していることは評価に値する。また自社での取組に留まらず、対外的な環境啓発企画についても継続して実施しているほか、環境関連団体等への参加も積極的に行っている点は評価できる。

<循環型社会に向けた取り組み>

[目標]廃棄物の削減と資源循環の削減

一般ごみを2016年度より40%削減

(目標年:2030年度)

[結果]

一般ごみ排出量159.8t(前年123.4t、前年対比29.5%増加、基準年対比25.3%削減)

[取り組み]

- ・リサイクルポストで分別回収の呼びかけによるイベント時のごみ分別回収の推進
- ・リサイクルポストの英語表記などで、外国人にごみ分別リサイクルへの協力を依頼
- ・(株)コンサドーレと連携し、リサイクルポスト付近にマスコットの分別呼びかけパネルを設置。クラブ・サポーター・清掃事業者との共同によるごみ削減推進。
- ・(株)コンサドーレと連携し、障がい者の就労支援として、リサイクルポストでの分別案内を障がい者の方が行うためのごみ分別とごみ袋掛けの事前レクチャーを実施
- ・飲食売店でのレジ袋削減
- ・廃棄予定だったベビーベッドを、授乳室内授乳コーナーで有効活用
- ・廃材の再利用
- ・売れ残り弁当を分別廃棄し、食べ残しや弁当外箱・わり箸・箸袋等をリサイクル
- ・委託事業者と協同した事業系ごみの分別推進
- ・弁当容器にリサイクルシールを貼付
- ・植栽の剪定枝や添え木などをリサイクル
- ・蛍光管、乾電池、パソコン、金属くず、木製パレットなどのリサイクル化
- ・来場者弁当の適正発注によるロス率抑制
- ・ペットボトル持ち込み解禁に伴うごみ箱の設置
- ・(株)コンサドーレと連携し、ペットボトルキャップを回収し黒板消しの一部へリサイクルして北海道の子どもたちへ還元する取り組みを開始

<生物多様性の保全と環境啓発活動の推進>

[目標1]生物多様性の保全

※環境数値目標は設定しない。

[取り組み]

- ・年2回の草地の刈込み、植栽の剪定や補植、冬囲いなどによる適切な緑地管理
- ・高茎草地を好む鳥を誘うために、あえて草を刈らない高茎草地エリアを用意)

ハイブリット芝導入により芝ごみがリサイクル(堆肥化)できなくなり、2021年6月以降一般ごみとして焼却または埋立処分しているため、2016年度より一般ごみにおける芝ごみの量は増加しているが、プロ野球の開催がなくなり、イベント来場者数が減少したことで、一般ごみの総排出量は減少した。2023年度から約3割増加しているのは、2024年9月にホヴァリングサッカーステージの芝の大規模な貼替を実施し、芝ごみが増えたため。

- ・社員による大和ハウス プレミストーム周辺のごみ拾い活動「クリーンアップ作戦」を平成24年から継続実施するなど、社員の環境意識啓発にも取り組んでいる。
- ・ウェブサイトやファンブック、SNS等を通じ、環境啓発活動を社内外に向けて積極的に行った。

[目標2]環境啓発活動の推進

※環境数値目標は設定しない。

[取り組み]

- ・ドームツアーにおけるリサイクルポスの紹介
ドームツアーにご参加されたお客さまに、リサイクルポスによるごみ分別の取り組みについて紹介。
- ・ドームツアーメニュー「環境ECOツアー」の運用
中学年から高学年の小学校団体向けに大和ハウス プレミストドームのECO活動を中心にご案内する新たなドームツアーコースを運用
- ・ネイチャーポジティブの取り組みに関するパネル展示
3階展望台、キッズパークへの通路に、自然の豊かさの減少を止め回復させる「ネイチャーポジティブ」視点の取り組みを紹介するパネルを展示した
- ・「近隣小学校環境啓発事業」の実施(2日間)
近隣に住む子どもたちに、大和ハウス プレミストドームをより身近に感じてもらうとともに、環境問題や地域への関心を高める機会を提供するため、周囲約1.5km圏内にある小学校の5年生をドームツアーメニュー「環境ECOツアー」に招待し、当社のSDGs、環境への取り組み等について説明(参加者数:羊丘小学校、月寒東小学校 計190名)
- ・近隣小学校の校外学習の受け入れ
近隣小学校の地域を学ぶ教育の一環として、子どもたちが大和ハウス プレミストドームの敷地と展望台を遠足で訪れ、小学生全校児童が来場した(参加者数:福住小学校1~6年生 計641名)
- ・職場体験の受け入れ
委託事業者が実施する職場体験学習の受入協力(参加者数:10月専門学校2名、1月市立高等支援学校8名)
- ・「野鳥観察会」を実施
㈱コンサドーレと連携し、試合開催日に敷地内での野鳥観察会を実施(9月1日/参加者数18名)
- ・ノー残業デーの実施
月1回ノー残業デーを設け、事務所内の省エネルギーに努めた
- ・クリーンアップ作戦の実施(1日)
社員の環境意識の向上を図るとともに、地域社会への貢献活動として、大和ハウスプレミストドームの敷地内及び周辺道路の清掃活動を行った。関係事業者にも声がけし、より多くの参加を募った
(参加者数:当社39名+㈱コンサドーレ34名 計73名)
- ・イベントでの環境啓発ブースを出展(2日間)
「環境広場さっぽろ2024」で当社の環境啓発ブースを出展し、SDGsクイズの実施やパネル掲出を行った
(環境広場ほっかいどう2024:8月24日・25日)
- ・環境関連団体等への参加「さっぽろエコメンバー(レベル3)」「北海道グリーン・ビズ認定制度」「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」「さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度登録」
- ・資源と環境保護のため、広報物に植物油インクを使用
- ・節水のためにトイレに流水擬音装置を追加設置
- ・敷地内樹木150本に「樹木プレート」設置(2019年度から継続)
- ・「エコプレイヤーキッズ」「大和ハウス プレミストドームおさんぽMAP」リーフレット配布
- ・SNSによる敷地内の魅力発信
当社公式Xにて、敷地内の風景や生息する生き物の紹介などを行い、当社の敷地環境の豊かさについて積極的に発信
- ・節電のため、諸室やバックヤードの照明スイッチ付近に「こまめに節電」掲出

▽ 管理運営組織の確立

▼責任者の配置

管理運営組織としての統括責任者を事業本部長(管理担当)、統括責任者の職務代理者を事業本部長(事業担当)としている。

▼組織の整備、従事者の確保・配置

4月：人事異動を実施

7月：1名採用

11月：1名採用、人事異動を実施

1月：1名採用

業務の効率化や部門間の連携強化を目的とした人事異動を行うとともに、次年度以降の定年退職者を見越した人材確保の観点から、若手中途社員2名を採用した。

▼人材育成を目的とした研修の実施・資格取得

・中途社員2名のうち若手社員(1名)を対象に、内定者育成バックプレミアプランのe-ラーニング講座を実施した。

・システム担当部署社員(1名)がITに関する基本的な知識を証明する国家資格「ITパスポート」を取得した。
・構内除雪作業等に従事するため、施設管理課社員(1名)が、小型車両系建設機械運転業務 特別講習を受講した。

▼事業に必要な業務にあわせた適正な人員配置に向けて、人事異動を行ってマネジメント体制を強化した。また、各部署にて必要なスキル・知識・姿勢を学ぶ機会を設けた。

▼法令遵守・服務規律に係る研修の実施

● 甲種防火管理・防災管理新規講習(新規・再講習)

・対象者：社員1名(新規1名)
・実施内容：消防法に基づく講習。防火管理の意義及び制度、火気管理、施設・設備の維持管理、防火管理に係る訓練及び教育、防火管理に係る消防計画等

● 自衛消防訓練/消火訓練

・7/23 ①地震火災総合訓練 ②消火訓練
当社社員及び委託事業者 計61名参加
・12/17 ①地震火災総合訓練 ②消火訓練
当社社員及び委託事業者 計57名参加

● 防火・防災社内講習会

・対象者：全社員
・実施内容：危機管理マニュアルについて
(資料配信による代替実施)

● 安全運転管理者等講習

・対象者：社員1名
・実施内容：道路交通法に基づく講習。自動車および道路の交通に関する法令の知識、自動車の安全な運転に必要な知識、自動車および運転者に対する交通安全教育に必要な知識・技能、安全運転管理に必要な知識・技能等

・指定管理者として業務を効率的かつ安定した体制をもって行えるよう、全体の業務量及び質を考慮し、計画的かつ適正な人員配置・採用を行った。

業務を効率的かつ安定して遂行できるように、計画的かつ適正な人員配置が行われている。

・人材育成においては、例年、年齢や役職に応じた研修とともに、適切な管理運営に向けて、都度必要となる内容を習得できる制度を整えている。

・人事考課制度の効果的な運用に向けて、被考課者全員に研修を行い、マネジメント体制強化に努めた。

・法令遵守に関する研修については、とりわけ、大規模集客施設の管理者として、安全に関する項目に重きを置きにおいて計画・実施している。防火防災については、札幌ドーム消防計画の第4章教育訓練に定め、適宜講習会に参加させているほか、全社員に対して研修を行い、防災意識を高めている。また、法令や規則の改定にあわせた研修を随時行っており、今年度は個人情報保護法について研修を行った。

研修については、業務に必要な研修のほか、管理職向けにコンプライアンスに関する研修を実施しており、指定管理者として法令順守のために必要な啓発が図られている。

- 食品衛生講習会
 - ・対象者 : 商業一課社員及び売店事業者
 - ・実施内容: 食品衛生に対する意識向上と注意事項について
 - 9月6日売店拭き取り検査結果を受け10月22日に実施
 - 2月26日売店拭き取り検査結果を受け3月19日に実施

- コンプライアンス研修(全社員向け)
 - ・実施内容: 個人情報保護法について
 - 個人情報データマッピング棚卸後、再度個人情報管理についての資料を社内配信し、全社的な個人情報管理に対する意識を高めるもの。

- コンプライアンス教育研修(新人社員研修)
 - ・対象者 : キャリア採用における新人社員
 - 2024年7月1日～27日: 営業一課キャリア採用1名
 - 2024年11月1日～30日: 営業二課キャリア採用1名
 - 2025年1月6日～31日: 商業一課キャリア採用1名

- 管理職研修
 - ・対象者 : 部長職(個人情報管理者)
 - ・実施内容: 今後の個人情報の管理方法、漏洩時の対応方法等に関する研修

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼独自のクレームマネジメント体制の強化

お客さまの声を貴重な財産と考え、寄せられたご意見は電子化して全社員に配信し、検討が必要なものは会議や担当部署にて改善に向けた議論を重ねた。すぐに解決できないご要望は、中長期的な課題として共有し、継続的な調査・検討を行っている。

▼来場者サービスの向上のための取り組み

・観光事業においては、サービス向上に向けた接遇マニュアルを作成し、スタッフ研修を行っている。

・飲食売店に従事する全スタッフに対して、館内案内図や衛生管理、緊急時の行動について記載したハンドブックを制作して配布した。

・衛生講習会の実施

全飲食委託事業者を対象として、外部コンサルタントによる売店内設備衛生検査と販売商品衛生検査を年2回実施。また同検査結果をもとにした講習会を実施し、食中毒予防や衛生環境の向上に努めた。

・独自のクレームマネジメントシステムを活用し、お客さまからのご意見、ご要望に対する対応方針を決定して、社内にてフィードバックする体制を確立し、内容によっては主催者や委託事業者に戻すなど、ご要望を形にすることでお客さまサービスの充実を図った。

・直接お客様と接するスタッフには、接遇マニュアル等を配布するとともに研修を行っている。

・大型施設における飲食サービス提供の根幹となる安心、安全性を担保すべく、食中毒予防や衛生環境への意識維持に努めた。

利用者から寄せられた意見・要望について、定期的な事業本部会議の実施等により、社内での情報共有が適切に行われており、必要に応じた業務見直し等が図られている。また、衛生環境の向上のため、全飲食委託事業者向けに外部コンサルタントによる衛生検査・講習会を複数回実施し、来場者の安全確保に努めている。

▼事業本部会議の開催

部長職以上の社員によって構成される「事業本部会議」を定期的で開催し、検討事項の議論や、情報共有を行うことで、組織としての意思を統一し、安定した組織運営・施設管理を実施した。

▼アイデア提案表彰制度の運用

会社をより良くするため社員からアイデアを募り、良いアイデアを表彰する制度を運用した。アイデアは事業本部会議で議論し、実施・改善すべきと判断したものは、担当部署で具体的な検討を進めるとともに、社内にフィードバックした。

▼スポーツ・エンターテイメント調査制度の運用

他社事例を体感・研究することでお客さま目線・感覚を養い、来場者サービス向上に繋げることを目的に、国内外のスポーツやエンターテイメントの調査制度を整備している。

▼ミニ図書館の運用

当社の事業にかかわり、かつ社員が共有することで、第二の創成期につながるアイデアの源泉となる書籍等について、供覧できるスペースを用意し、令和2年9月より貸出も行っている。なお、本取り組みは、前述のアイデア提案表彰制度により提案されたアイデアを形にしたものである。

▽ 第三者に対する委託業務等の監理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼業務計画に基づく第三者への委託業務等の実施

- ・委託事業者から提出される業務報告書を基に、適正に業務遂行されているかの確認を行った。
- ・工事、資産購入等の発注業務においては、経理部門による業務完了検査を実施した。
- ・お客さまからのご意見、ご要望を該当する委託事業者に迅速にフィードバックし、必要に応じて指導・改善を行った。

▼暴力団員又は暴力団関係事業者の排除

札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、暴力団員または暴力団関係事業者が契約行為の相手方とならないよう、適切な事務処理を行った。また、既に締結している契約の相手方が暴力団員または暴力団関係事業者であると判明した場合や不当要求を受けた場合などに備え、顧問弁護士などの専門家に必要な助言を受け、適切に対処できる体制を整えた。

・再委託を行う際は、当社契約規則等に基づき、適正な契約事務を実施した。

・業務の遂行にあたっては、高水準な業務レベルが維持できるよう業務内容を明確にするとともに、適正に履行されているか随時検査・確認を行い、必要に応じて適切な指導を行うことで、お客さまの安全・安心に努めた。

第三者に委託している業務について、業務報告書の確認等により適切に管理監督・履行確認を行っている。また、業務の実施状況について、再委託している業務についても利用者サービスの向上の観点をもって実施されている。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼運営協議会の開催

利用者団体と外部有識者等による運営協議会を3か月に一度開催し、札幌ドームの管理水準の維持向上に向けて意見をいただくとともに、連携施策実施について協議を行った。

| 開催回 | 協議・報告内容 |
|---------------|--|
| 第1回 9月5日 | ・大和ハウス プレミストドームのイベント開催状況について ・今年度の協議会実施方針について ・その他ご意見ご要望について |
| 第2回 11月13日 | ・大和ハウス プレミストドームのイベント開催状況について ・各町内会・協議会様における年度取り組み事例と、敷地見学会を踏まえたドームの利用案について ・さっぽろスノースポーツパーク2025における連携行事案の検討について |
| 第3回 1月15日 | ・大和ハウス プレミストドームのイベント開催状況について ・JALさっぽろスノースポーツパーク2025 関連の進捗状況について ・近隣小学校との連携事業について |
| 第4回 3月27日 | ・大和ハウス プレミストドームのイベント開催状況について ・JALさっぽろスノースポーツパーク2025実施報告について ・次年度の運営協議会について |

<協議会メンバー>

福住地区まちづくり協議会代表・副代表・幹事、東月寒地区町内会連合会会長、東月寒地区まちづくり協議会「童夢」会長、豊平区福住まちづくりセンター所長、豊平区東月寒まちづくりセンター所長、札幌市スポーツ局スポーツ部長、株式会社札幌ドーム総務部長・総務部担当部長

福住地区、東月寒地区両町内会との運営協議会を年度4回開催した。施設運営に関する貴重なご意見を受け止める機会となったこと及び両町内会との連携強化をより一層図ることができた。

近隣の町内会も含めた運営協議会を定期的(3か月に1回)に開催し、本市との情報共有を適切に実施している。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼資金管理については、月毎の予算実績管理を実施し、経営幹部へ情報共有を行うとともに、監査法人による外部会計監査及び税理士による税務監査を実施している。

▼当社現金取扱要領に基づき現金管理を行っている。

▼警送会社との契約により、現金入金機を設置し、当社自身が扱う現金を圧縮している。

・監査法人による会計監査を年3回、税理士による税務監査を年12回実施し、適正な会計処理がなされていることを外部監査により確認している。

外部会計監査や税理士による税務調査を実施しており、適正な会計処理に努めている。現金の取扱いについては、関係規定を整備し、その規定に基づき適正に管理している。

▼「インボイス制度」の施行に伴い、インボイス発行事業者としての登録を済ませ、請求書や領収証等の様式変更を行うとともに、必要なシステム改修を実施し、適正運用に努めている。

▽ 要望・苦情対応

▼独自のクレームマネジメント体制の強化
クレームマネジメントシステムを導入し、お客さまのご意見・ご要望に対する対応方針を決定して、社内にフィードバックする体制を確立している。

▼一般のお客さまからのご意見・ご要望に関しては、コールセンターや、館内に設置している「コミュニケーションコーナー(ご意見箱)」、「ウェブサイト(Eメール)」等より積極的に収集しホスピタリティーのさらなる充実に努めた。

また、お客さまからの意見をイベント主催者からのご意見・ご要望と合わせて、可能な限り対応し、双方向コミュニケーションに努めている。

※コールセンター入電数 11,955件
(前期比:3,202件減)
※コミュニケーションご意見枚数29枚
(前期比:1枚減)
※メール 847件
(前期比:290件増) ※セールスメール除く

▼コミュニケーションコーナーに寄せられたご意見に対して、回答文書を作成し、コミュニケーションコーナーに掲示した。

▼ご意見・ご要望の改善事例については、「施設・サービス改善」というウェブコンテンツを作成し、広報している。

▼コールセンター、ウェブサイトでのご意見・ご要望を貴市に月次報告している。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼管理運営業務仕様書に定める帳簿等を常に整備し、これらを5年間保管書類として管理している。

▼管理運営業務協定書に定める各報告書類を適切に貴市に提出した。

▼貴市の検査・確認・要請に対し、誠実に対応した。

・一般のお客さまからのご意見・ご要望を積極的に収集し、ホスピタリティーの更なる充実に努めた。

・管理運営業務に係る記録・帳簿等を適切に作成・管理し、その情報を的確に分析することにより、管理運営状況を常に把握し最善の対応を実現できるよう努めた。
また、これらの記録・帳簿をもとに管理運営状況の報告書を作成し、定期的に貴市へ提出するとともに、随時連絡・報告が必要なものについては遅滞なく情報を共有した。

多種多様な方法により利用者の意見・要望の収集に努め、必要な記録・整理・分析を行っている。
また、意見・要望に対する対応結果等については、ホームページウェブサイトなどを使用し、広く公表している。

必要な記録・帳簿等を整備し、適切に保管している。
これまで実施してきたオンラインリサーチについては、誰でも回答可能なWEBからのアンケートで意見を募る方法で実施し、幅広く利用者意見を収集することで、サービスの更なる改善に努めている。
また、報告書類は適切に提出されて

▼インターネットアンケートの実施

・平成24年度からの継続的な取り組みとしてインターネットアンケート「オンラインリサーチ」を実施した。アンケート結果とご意見等に対する当社の考え方については、当社ウェブサイトに掲載している。

＜オンラインリサーチ実施方法＞

大和ハウス プレミストドームWEBサイト内のオンラインリサーチ回答ページにアクセスいただく形で、誰でも回答可能なオープン型のアンケートを1回実施した。
※大和ハウス プレミストドームへのご来場経験が無い方も回答は可能。
※回答は1人1回まで。

＜オンラインリサーチ実施結果＞

・テーマ:「施設サービス、施設活用、愛称、情報発信等」

・実施期間:12/4～17

・回答者数:1,357人

・回答結果

【施設サービス】

・魅力を感じる施設は「展望台」が一番多く選択された。

・清掃・衛生状態は「いつも清潔に保たれていると感じる」が一番多く選択された。

・優先的に取り組んでほしいものとしては「飲食メニューのジャンル・種類が増える」が一番多く選択された。

・自由回答ではバリアフリー、アクセス、飲食サービス等に関するご意見が寄せられた。

【施設活用】

・大和ハウス プレミストドームに期待していることは「地域活性化につながる大きなイベントの誘致」が一番多く選択された。

・期待するイベントとしては、スポーツイベント、鑑賞型イベント、市民参加型イベント、展示会などの多種多様なイベントが挙げられた。スポーツイベントでは約3割が野球に関するものであった。

・全天候型であるなどの施設の特長を踏まえた施設活用の提案が寄せられた。

【愛称】

・「愛称を知っている」という回答者が約80%で多数を占めたが、「具体的な名称を覚えていない」という回答者も一定数いた。

・愛称を知っている回答者のうち「使用している」と回答したのは約35%と少数派であった。

・愛称浸透のためのアイデアも寄せられた。

【情報発信】

・Xを使用している回答者のうち、半数以上が当社アカウントをフォローしていない結果となった。

・1年間で大和ハウス プレミストドームの情報を見た覚えのある媒体が無い回答者が全体の約25%であった。

・平成24年度からの継続的な取り組みとしてインターネットアンケート「オンラインリサーチ」を実施した。
・令和5年度からは実施していた、モニター方式から誰でもアクセス可能なアンケートフォームでの回答方式へ変更し、様々な属性のお客様さまからの幅広いご意見を収集している。

おり、本市の検査等に対しても誠実に対応している。

| (2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上 | ▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) | ・社員の労働条件については、必要に応じ、顧問契約を締結している社会保険労務士・弁護士、業務委託契約を締結している産業医の助言を受け、労働関係法令を遵守するとともに、当社就業規則やその他必要な規則・制度を適正に整備し、雇用環境の維持向上に努めた。 | A B C D |
|----------------------|---|---|--|
| | <p>▼時間外労働又は休日労働の規定については、書面による労使協定(36協定)を締結し、労働基準監督署に届出を行った。</p> <p>▼当社アルバイト社員について、北海道の最低賃金1,010円(令和6年10月1日発効)を遵守し支給した。</p> <p>▼当社社員を時間外労働・休日労働及び深夜業務させた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。</p> <p>▼当社社員が労災保険に、条件を満たす社員が雇用保険に加入している。これに加えて、労災を被った場合の上積み補償として、社員に対する傷害保険にも加入している。</p> <p>▼社員の勤務形態、家族状況等に応じて社会保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出を行った。</p> <p>▼より働きやすい職場づくりの推進を目的として、一般事業主行動計画の策定を行った。目標としているリフレッシュ休暇5日取得と年次有給休暇5日以上取得については、100%達成となった。</p> <p>▼健康診断を1年に1回実施し、結果を労働基準監督署に提出した。なお当社は深夜業ではないが、深夜労働従事者のために準じ、深夜業に相当する社員については健康診断を1年に2回実施した。法定健康診断に加え、年齢に応じて検査項目を追加しているほか、女性社員を対象とした婦人科健診も費用を負担し実施した。</p> <p>▼労働安全衛生法及び当社安全衛生規程に基づき、社員の安全と健康の確保、災害・事故の未然防止及び快適な職場環境の形成のため、月1回衛生委員会(構成員6名、うち1名は衛生管理者の有資格者)を開催した。 [衛生委員会の主な取り組みや議題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デー対象日の設定 ・年休の取得促進の検討 ・気象病対策 ・突然死 ・夏の健康診断 ・ストレスチェック ・インフルエンザ接種、脳ドック検診 ・冬に流行する感染症 など <p>▼「札幌市ワーク・ライフ・バランスplus認証企業(ステップ1)」として、「札幌市ワーク・ライフ・バランスplus取組確認シート」に基づき、ワーク・ライフ・バランスの実現のための様々な取り組みを進めた。 令和6年度については、育児休業を取得した社員は2名おり、休業中の適切な対応と職場復帰に向けた環境整備に努めた。</p> | <p>・社員の労働環境については、勤務時間、休日・休暇、賃金等の勤務条件について、労働基準法及び当社就業規則等を遵守し、良好な労働環境を確保したほか、社員に対しメンタルヘルスチェックを行い、臨床心理士など有資格者に相談できるサービスを継続運用するなど、職場環境のさらなる健全化に努めた。</p> | <p>労働関係法令は遵守され、雇用環境の維持向上に資する体制づくりに積極的に取り組んでおり、要求水準を達成している。</p> |

| | <p>▼メンタルヘルスチェックを実施した。</p> <p>▼働きやすい環境を推進するため、業務に支障のない範囲において、社員各人の生活スタイルにあわせた時差出勤制度を継続したほか、在宅勤務可能日数を拡大した。</p> <p>▼弁護士、社会保険労務士と顧問契約、産業医と業務委託契約を継続した。</p> <p>▼当社内部統制システムに関する基本方針に基づく活動を実施した。</p> <p>5月：第15回コンプライアンス委員会開催 ※コンプライアンス推進会議(年4回実施) (5月、8月、11月、2月)</p> <p>7月：第13回リスクマネジメント委員会開催</p> <p>※内部統制システムに係る研修(コンプライアンス集合研修)の実施状況は、「(1)統括管理業務▽管理運営組織の確立(責任者の配置、組織の整備、従事者の確保・配置、人材育成)」に記載。</p> | <p>・当社内部統制システムに関する基本方針に基づき、各種活動により、社員のコンプライアンス意識の向上を図った。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|---|---|---|---|------------------------------|--|--|--|--------------------|--|--|--|---|--|--|--|
| (3)施設・設備等の維持管理業務 | <p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼館内設備の点検を定期的に行い、故障等があれば直ちに修繕を行うことで設備の安全を維持している。</p> <p>▼自衛消防組織、緊急連絡網を形成し、有事の際にお客さまの安全を守る体制を整えている。なお、組織改編や人事異動などに伴って随時見直しを行い、適切に運用できるように整備している。</p> <p>▼ドクターヘリ用ヘリポートについて消防等と密に連携を取っている。 緊急時に備え、日常的なドクターヘリ受入れ用ヘリポートの維持管理を適切に行っている。 ヘリポートとして、第二駐車場ヘリポート(主)と天然芝練習場ヘリポート(副)の2か所を用意している。 緊急時には関係機関(消防・イベント主催者など)と連携し、電話の受信から、受入れ準備、消防車両・救急車の誘導やスムーズな搬送が行えるよう連携をしている。 毎月、ヘリポートスケジュールを作成し、豊平消防署をはじめ、社内関係部署、コールセンター、防災センター、駐車場スタッフ等と共有することにより、迅速な対応を可能にしている。ヘリポートスケジュールには、使用可否、受入れ可能なヘリポート、イベントの開催時間等を記載している。 ヘリポート図面を刷新し、消防・警察と改めて共有した。</p> | <p>・開業後20年以上が経過して設備の老朽化が目立つ中、適切に管理して安全を維持できている。</p> <p>・お客さまの安全確保を第一に自衛消防組織、緊急連絡網を形成しており、有事の際お客さまを迅速かつ安全なご案内ができる体制を整備している。</p> <p>・ヘリポートの維持管理も適切に実施し、ドクターヘリを迅速に受入れ・搬送できる体制を整えている。</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">全ての要求水準を達成していることから、『B』評価とする。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">なお、小項目別の評価は以下のとおり。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">利用者の安全確保や、必要な連絡体制の確保(緊急連絡網の整備等)がなされている。</td> </tr> </tbody> </table> | A | B | C | D | 全ての要求水準を達成していることから、『B』評価とする。 | | | | なお、小項目別の評価は以下のとおり。 | | | | 利用者の安全確保や、必要な連絡体制の確保(緊急連絡網の整備等)がなされている。 | | | |
| A | B | C | D | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全ての要求水準を達成していることから、『B』評価とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| なお、小項目別の評価は以下のとおり。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 利用者の安全確保や、必要な連絡体制の確保(緊急連絡網の整備等)がなされている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

▼令和4年4月からの道路交通法施行規則改正に基づき、社用車(及び自家用車の社用使用)を運転する場合、運転手のアルコールチェック、酒気帯び状態を確認し、記録簿を作成、保管している。
また、運転前後における検知器を使用した酒気帯び確認(アルコールチェック)は、令和5年12月に義務化されたが、それ以前の令和4年7月から、検知器を使用して酒気帯び確認を実施している。
なお、当社の車両を使用する委託事業者にも適用させ、安全運転管理者が確認をしている。

▼拾得物は法令に基づき管理しており、日毎に台帳に記載し、1週間以内に豊平警察署に届け出を行っている。
・遺失者からの問合せには、コールセンターなどで迅速な対応ができる体制を整えている。引渡しは、守衛所で遺失物受領書を記入してもらい、適正に行っている。
・貴重品は金庫で厳重に保管し、遺失者の本人確認等必要な確認を厳重に行ったうえで、慎重に引き渡しを行っている。
・イベント時の拾得物は、イベント開催中は主催者で管理し、イベント終了後に、現物と拾得物リストが当社に引き渡される仕組みとなっている。翌日以降、コールセンター等での問合せに対応している。

▼独自のクレームマネジメントシステムを整備し、お客さまからのご意見、ご要望に対して迅速かつ適切に対応する体制を整備している。

▼損害賠償保険は仕様に適合したものに継続加入している。

▼令和5年5月以降の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、一般的な感染症対策として以下の対応を実施した。

〈継続実施〉

- ・主催者と連携し各ゲートやトイレ・子供向け施設付近など留意すべき箇所への消毒液の設置とその盗難対策の実施。
 - ・全トイレへの手洗い石鹸設置。全個室内への便座除菌クリーナー設置
 - ・トイレ内のハンドドライヤー使用と清潔さの維持
 - ・来場者用トイレへの「手洗い、咳エチケット推奨」告知掲出
 - ・来場者用男性トイレへの「手洗い推奨」告知掲出
 - ・来館者・飲食事業者向けに、守衛所付近への手指消毒液とサーモグラフィ(体表面温度計測器)の設置(随時)
- ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

▼清掃、常駐警備、施設管理業務、駐車場管理については業務計画に基づいた内容で第三者への委託により実施している。

・日々の点検、毎月の確認とも、問題なく実施できている。

▼出入口やトイレ周辺等での一般的な感染症対策は継続し、来場者や来館者、関係者が選択的に予防対策を実施することができる安心安全な環境を継続維持している。

・清掃、警備、施設設備運転管理、保守点検ともに業務計画のとおり実施し、施設設備の適正な維持管理を行った。

施設・整備等の維持に関する業務については、定期的な設備点検を実施し、故障等が発見された場合には

・日常清掃・イベント準備清掃・イベント清掃・特別清掃と区分し、汚れ具合・清掃エリア・頻度・タイミングを十分考慮したうえで、広い施設を効率的に清掃して来た。

・日常清掃における清掃箇所・頻度・回数の内容見直し等により、物価・人件費が上昇する社会情勢の中でも、委託費上昇幅の抑制に努めた。

・展望台エリアで、小型ロボット掃除機を導入し、人力による清掃作業を削減し、日常清掃費の低減に努めている。

・清掃消耗品の購入先を見直し、費用の低減に努めている。

・監視カメラや機械警備設備を活用し、広い敷地内を効率的に監視、警戒するとともに、館内及び館外の巡回を定期的実施し、敷地内の保全に務めている。

売り子販売の廃止に伴い使用頻度の低くなったバイト口閉鎖により、さらなるコスト削減に努めている。

・機械警備の契約内容を見直し、統合や解約をすすめ、セキュリティを保ちつつ月額費用の削減を実現した。

・駐輪場に残された自転車は、毎月曜日に確認し、「放置自転車報告書」を作成、記録している。貼紙掲出後、一定期間経過後引取り手が現れない場合には、警察への問合せを行ったうえで、適切に廃棄処分をしている。

・通常営業日(イベントのない日)における一般駐車場は、機械化による無人精算により、駐車場係員の人件費削減など合理化を実施した。イベント日の一般駐車場や関係者駐車場は有人での運営を継続し、スムーズな案内誘導・ホスピタリティ維持・安全確保に努めた。

・「AED日常点検チェックリスト」により毎日AEDのインジケータの点検をするなど、常に適切に使用できる状態の維持に努めている。

・使用期限が近くなったAEDのバッテリーを3個交換した。

▼外構管理、コンパウンドアート管理、除排雪は当社社員及び再委託により適宜実施している。

・外構管理は草花の開花時期を考慮して下草刈りの時期を決めている。樹木は歩行者や車両等の安全を第一とした駐車場エリアと草花や樹木を楽しむボタニカルエリアでは剪定頻度や剪定強度を変えて、メリハリのある樹木管理を実施している。

・除排雪は歩行者や車両等の安全を第一に考えた体制で実施しており、特にイベント日は除雪作業のほか凍結防止剤やすべり止め砂の散布などを実施し、来場者の転倒事故防止に努めた。

・カラスの巣やスズメバチの巣を発見した場合、必要に応じて、専門業者に依頼し、適切に除去、安全安心な施設環境維持に努めている。敷地内樹木にスズメバチの女王バチ誘因装置を設置し、巣づくりを事前に食い止める取組みを実施した。

・コンパウンドアートは、毎月1回清掃点検を実施している(冬季閉鎖箇所は除く)。汚れや破損等が発見された場合は、適切に清掃、修繕を行っている。積雪前には一部の屋外作品については冬囲いを実施し、雪害や除雪車による影響から作品を守っている。

▼修繕は年度計画を貴市に提出し承認後実施した。その他、急を要する修繕については対応後貴市に報告している。

※修繕等件数 96件 / 実施金額 11,305千円

・清掃スタッフの手による清拭、搭乗式床洗浄機による広範囲な床面清掃など、素材や場所に適した、施設を大切に丁寧な清掃を心掛けており、来場者や視察者から開業後20年経過しても施設がきれいであるという評価を受けることが多い。

速やかに対応するなど、施設の安全確保に向け適切に実施している。

・外構管理、コンパウンドアート管理、除排雪は業務ごとに当社社員または第三者委託により適切に実施できた。特に敷地内の除排雪は積雪期におけるイベント運営に支障をきたすことのないよう十分留意して実施した。

・札幌ドーム保全計画に係る工事については、現在の施設・設備の劣化度状況を正確に把握し、イベント開催に影響が無いよう最適な保全計画(貴市ご発注分)の遂行に貢献した。

・適宜修繕を行った。

| | <p>▽ 防災</p> <p>▼札幌ドーム消防計画に基づき、防火・防災管理業務を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織変更に伴い、自衛消防隊編成を修正するなど、必要に応じて、消防計画を見直している。 ・防火・防災管理新規講習(新入社員教育)1名受講した。 <p>▼以下のとおり防災訓練・自衛消防訓練を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月と12月に自衛消防訓練を計2回実施した。 出勤人数の少ない通常営業日(非イベント日)に、地震・火災が発生したとの想定で、委託事業者と連携し実施した。消火器の使用方法説明と、水消火器を使用した模擬消火訓練を実施した。無線機やマスターキーの所持、防災に必要な物資を備えた「地区隊バッグ」の携帯など、基本的な行動の振り返りを行った。自衛消防隊長のローテーションを図ることで、自衛消防本部の組織力・連携力を強化するとともに、担当者不在でも本部隊を運営できる体制を整えるべく訓練を実施した。 ※主な訓練内容:地震・火災発生のお知らせ、営業状況・来場者・避難動線の確認、来場者の避難誘導など。 <p>▼大規模地震等発生時に必要になると想定される情報を常に携帯できる名刺サイズの折りたたみ型カード「札幌ドーム防災カード」を作成して、社員、アルバイト、委託事業者などの関係者へ配布している。</p> <p>▼「防火対象物・防災管理点検報告特例認定」</p> <p>札幌市豊平消防署より、防火防災管理の状況が優良なものとして、「防火・防災優良認定証」の交付を受けている</p> <p>▼地震発生時に備えて以下の対策を継続して行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火・防災に関する社内講習会を実施し、社員の防災意識の向上を図っている。3月に「危機管理マニュアルの更新・緊急地震速報、全国瞬時警報システムについて・爆破予告対応・不審物検索」について、資料配信により代替え実施した。 ・災害用備蓄品の適正な管理(4月・10月年2回点検/数量・賞味期限管理等)を実施した。2024年6月と2025年3月に賞味期限が切れる保存水の入替えを行った。なお、賞味期限の切れた保存水については、飲用以外にも活用できるため、廃棄せず保管している。 | <p>・防災業務では委託事業者の協力のもと、防災・消火訓練を実施し、危機管理意識の向上に努めた。</p> | <p>防災訓練について、必要に応じて主な施設利用者や委託事業者を交えて実施しており、防災体制の確立に努めている。</p> | | | | | | | | |
|---|---|---|--|---|---|---|---|---|--|--|--|
| (4)事業の計画・実施業務 | <p>▽ 周辺環境(迷惑駐車防止等)に関する業務</p> <p>▼イベント開催時の配慮</p> <p>ドームニュースの配布等でイベント開催を周知するとともに、当社指定業者による外周警備により交通面・環境面で近隣に迷惑がかからないよう尽力した。(※25年1月からはイベントカレンダーとして近隣住民へ周知)</p> | <p>・周辺環境に関する業務は計画どおり実施。運営協議会等を通じ、地元町内会との日々の情報交換をより密にとり、連携をさらに深めることができた。</p> | <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">「周辺環境(迷惑駐車防止等)に関する業務」の項目において、非公表イベントにおける花火の打ち上げについて、遅い時</td> </tr> </tbody> </table> | A | B | C | D | 「周辺環境(迷惑駐車防止等)に関する業務」の項目において、非公表イベントにおける花火の打ち上げについて、遅い時 | | | |
| A | B | C | D | | | | | | | | |
| 「周辺環境(迷惑駐車防止等)に関する業務」の項目において、非公表イベントにおける花火の打ち上げについて、遅い時 | | | | | | | | | | | |

▼地元町内会活動等への参加

・地元町内会等が主催する「花ランド事業」「清掃活動」「各種会合」に参加した。
 ・福住北町内会 5/25花植え 4名参加
 ・冬の交通安全市民総ぐるみ運動街頭啓発 2名参加
 ・福住地区町内会連合会新年交礼会 2名参加
 ・東月寒地区町内会連合会新年交礼会 2名参加
 ・東月寒まちづくり協議会「童夢」の活動については、交通安全街頭啓発活動への参加(20名)や「東月寒セーフティーフェスタ2024」への開催場所の提供とスタッフとしての参加を通じ、地域との円滑な関係を維持することに努めた。
 ・福住まちづくり協議会による「福住ウィンターランド」でのドーム前広場スノーキャンドル制作設置・キャンドルの点灯等のお手伝い

▼地元町内会との連携施策の実施

JALさっぽろスノースポーツパーク2025において、スノーキャンドル約2,200個を協同制作した。

▼冬期ボランティアサポートプログラムへの参加

北海道開発局主催の「冬期ボランティア・サポート・プログラム」へ参加し、近隣町内会等と協力して、国道36号歩道拡幅除雪やすべり止め砂撒き(地下鉄福住駅～大和ハウス プレミストドーム間)を継続実施している。令和6年度は、イベント前に、砂撒き計4回、拡幅除雪計4回実施した。

▽ 市民利用事業に関する業務

▼市民利用事業として、クローズドアリーナ及び屋外サッカー練習場(天然芝1面・人工芝1面)、ブルペンを市民に貸出した。
 トレーニングルームについては一部再委託により営業した。

▼各種広報媒体の使用、また既存媒体のシステム、コンテンツ強化を図り、イベント情報や施設情報を、広く、分かりやすく市民へ提供した。

▼クローズドアリーナ(草野球等)

・開放日数・枠数
 [平日の開放日数・枠数]:5日・30枠(前期比2日増・15枠増)
 [土日祝日の開放日数・枠数]:0日・0枠(前期比3日減・15枠減)

・市民利用事業については、イベント開催日も含め可能な限りの営業日数・営業時間を確保し、スポーツやレクリエーションを楽しんでいただくとともに、トレーニングルームの運営により地域の方の体力の維持向上、健康増進に貢献した。

・市民利用事業では、ブルペンの単独貸出もおこない、冬場のピッチング練習や打撃練習の機会や、モルックなどの

間を実施したことや近隣住民等に事前告知を行わずに実施したことは近隣住民への配慮が欠けていた。これについて、市の指導を受けた以降は同様の事案は発生していない。以上のことから『C』評価とする。なお、小項目別の評価は以下のとおり。

「周辺環境(迷惑駐車防止等)に関する業務」の項目において、東月寒まちづくり協議会の活動に参加するなど地域との円滑な関係を維持することに努めている。一方で非公表イベントにおける花火の打ち上げについては、近隣住民への配慮が欠けていた。今後地域住民からイベント実施への理解や協力を得られるよう、地域住民と良好な関係を構築する取り組みに期待したい。

「市民利用事業に関する業務」の項目において、利用者サービスの充実に努めている。

- ・利用日数 5日 (前期比:1日減)
- ・利用枠数 14枠 (前期比:5枠減)
- ・利用者数 692人 (前期比:276人減)
- ・利用者サービスの充実のため、スコアボードやワイヤレスマイクを使用したアリーナ内スピーカーの利用を安価なオプション料金にて提供した。
- ・予約者を対象にした市民利用専用メールアドレスを確保し、利用申請から問合せまで、メールで対応できるようにした。また、WEBサイトから各種書類をダウンロードできるようにし、利用者の便宜性向上を図った。
- ・予約者との連絡を密にし、利用者が気軽に相談できるよう務め、利用者の希望に沿った備品を的確に提案・準備した。

野球以外のスポーツでも活動の場を提供することに寄与した。

| | <p>▼クローズドアリーナ(ホヴァリングサッカーステージ利用) イベント都合により開放できず、利用実績はなし。</p> <p>▼ブルペン ・開放日数・枠数 88日・733枠(前期比37日減・8枠減) ・利用枠数 134枠(前期比8枠減) ・利用者数 946人(前期比179人増)</p> <p>▼サッカー練習場 ・開放日数・枠数 延べ(2面あわせて)107日・501枠(前期比29日減・205枠減) ・利用枠数 284枠(前期比:96枠減) ・利用者数 9,292人(前期比:1,346人減) ・人工芝サッカー練習場の人工芝も更新され、新たな環境で利用者の利便性や満足度を向上させた。 ・前期に続き熱中症の注意喚起を実施した。</p> <p>▼オープンアリーナ(ホヴァリングサッカーステージ) イベント都合により開放できず、利用実績はなし。</p> <p>▼トレーニングルーム ・利用者数 26,977人(前期比:1,008人増) ※トレーニングルーム関連事業については「2自主事業その他▽自主事業▼トレーニングルーム関連事業」を参照。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|---------|-----------|------|------|--------|-------|----|-----|-------|---------|-----------|-----------|-------|-------|------------|-------|----|----|-------|-----|-----|---------|-------|-----|-----|-------|--------|-------|------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-----------|-------|---|---|-------|--------|--------|-----|-------|---|---|-------|--------|-------|--|--|---|---|---|---|
| <p>(5)施設利用に関する業務</p> | <p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="379 972 868 1585"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R5実績</th> <th>R6実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">イベント利用</td> <td>件数(件)</td> <td>98</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>997,397</td> <td>1,112,940</td> </tr> <tr> <td>全体の稼働率(%)</td> <td>62.6%</td> <td>70.4%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">アリーナ(市民利用)</td> <td>件数(件)</td> <td>19</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>968</td> <td>692</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">サッカー練習場</td> <td>件数(件)</td> <td>481</td> <td>284</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>10,638</td> <td>9,292</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ブルペン</td> <td>件数(件)</td> <td>142</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>767</td> <td>946</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">トレーニングルーム</td> <td>件数(件)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>25,969</td> <td>26,977</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">展望台</td> <td>件数(件)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>16,619</td> <td>9,124</td> </tr> </tbody> </table> | | | R5実績 | R6実績 | イベント利用 | 件数(件) | 98 | 129 | 人数(人) | 997,397 | 1,112,940 | 全体の稼働率(%) | 62.6% | 70.4% | アリーナ(市民利用) | 件数(件) | 19 | 14 | 人数(人) | 968 | 692 | サッカー練習場 | 件数(件) | 481 | 284 | 人数(人) | 10,638 | 9,292 | ブルペン | 件数(件) | 142 | 134 | 人数(人) | 767 | 946 | トレーニングルーム | 件数(件) | - | - | 人数(人) | 25,969 | 26,977 | 展望台 | 件数(件) | - | - | 人数(人) | 16,619 | 9,124 | <p>Jリーグ公式戦19試合およびカップ戦3試合による22日(前期比2日増)、その他プロスポーツはラグビー日本代表戦やジャパンラグビーリーグワンの開催などにより計4日(前期比1日減)、コンサートは4アーティストにより計6日(前期比1日減)、コンベンションは「ポケモンカードゲームチャンピオンズリーグ2024札幌」などの新規イベントを含め計30日(前期比7日増)、自主・共催イベントは「サッポロモノヴィレッジ」等により計10日(前期比2日減)、アマチュアスポーツ大会は計28日(前期比8日増)、その他「APEX LEGENDS™ GLOBAL SERIES YEAR 4 CHAMPIONSHIP」の5日などを含めました当事業年度のイベント利用日数は、前期を大きく上回る合計129日(前期比31日増)となった。</p> | <table border="1" data-bbox="1241 936 1442 972"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </table> <p>全ての要求水準を満たしており、「利用促進の取組」「イベントの実施支援に関する業務」の項目においては要求水準を超える取組が行われていることから『A』評価とする。</p> <p>なお、小項目別の評価は以下のとおり。</p> <p>イベントの利用については、前年比131.6%増のイベント利用日数となり、市民が多様なイベントに触れる機会を創出し、施設の設置目的である「スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化」に寄与しているものと判断され、評価できる。</p> | A | B | C | D |
| | | R5実績 | R6実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| イベント利用 | 件数(件) | 98 | 129 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 人数(人) | 997,397 | 1,112,940 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 全体の稼働率(%) | 62.6% | 70.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| アリーナ(市民利用) | 件数(件) | 19 | 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 人数(人) | 968 | 692 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サッカー練習場 | 件数(件) | 481 | 284 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 人数(人) | 10,638 | 9,292 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ブルペン | 件数(件) | 142 | 134 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 人数(人) | 767 | 946 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| トレーニングルーム | 件数(件) | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 人数(人) | 25,969 | 26,977 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 展望台 | 件数(件) | - | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 人数(人) | 16,619 | 9,124 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A | B | C | D | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|--|---|---|
| <p>▽ 不承認、取消し、減免、還付</p> <p>▼イベント利用 不承認0件、取消し0件、減免129件、還付0件</p> <p>▼市民利用 草野球・サッカー練習場・ブルペン等 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件</p> <p>トレーニングルーム 全額免除のべ1,915人(「身体障がい者手帳」「療育手帳」「精神障がい者保健福祉手帳」「いつくしみの手帳」「被爆者健康手帳」をお持ちの方)</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼イベント利用については当社営業担当によるイベント誘致を行った。</p> <p>▼アマチュア大会の実施支援 貴市と締結した「札幌ドームにおけるアマチュアスポーツ大会開催支援の協定書」に基づき、9つのアマチュア大会(27日間)の実施について支援を行ったほか、当社独自のアマチュア大会開催支援を行った。</p> <p>▼市民利用については、利用促進のため、約1,191人(前期比+386人)のLINE公式アカウント友だち登録者に対し、野球・サッカー一般利用の受付情報を19回発信した。</p> | <p>・利用の承認手続きや減免対応は、条例等の規定に基づき実施した。</p> <p>・主催者さまが円滑にイベントを実施できるよう、適切かつスムーズな運営サポートを実施したほか、当社の各種広報媒体や、「友の会組織(札幌ドームメンバーズクラブ)」を活用し、積極的なイベント告知を行い、主催者さまへのサポートを行った。</p> <p>・新コンサートモードでのイベント開催実現に向けて誘致に努めた。</p> | <p>利用の承認、不承認等の決定については、条例等の規定に基づき、適正に行われている。</p> |
|--|---|---|

▽ イベントの実施支援に関する業務

・イベントの開催にあたっては、主催者さまに対して、警備、案内誘導、来場者動線、照明、音響、映像面などについての適切なアドバイスを行うこと等により、円滑なイベント運営をサポートした。

▽ 展望台の運営に関する業務

▼イベント開催日も含め可能な限りの営業日数・営業時間を確保するとともに、札幌の観光拠点としての役割を果たすよう努めた。

・海外観光客の利便性向上のため、プレミストームウェブサイトの外国語翻訳機能の継続、事業紹介パンフレットの刷新、総合案内のデジタルサイネージにて二か国語案内を実施。

・旅行会社等とタイアップした各種割引サービスを継続実施。

・さっぽろテレビ塔、さっぽろ羊ヶ丘展望台、札幌もいわ山ロープウェイ、北海道開拓の村、北海道博物館、大倉山展望台、札幌芸術の森、札幌市時計台、タワーズリーエイトJRタワー展望台との相互割引を継続実施。

・コンサドーレとの連携強化を兼ねた集客施策として、クラブコンサドーレ会員向けの優待料金設定を行い、両社による告知展開を実施した。

・展望台に記念品(キリンチャレンジカップ2011・2014、U-24日本代表戦2021、オールスター2013記念品等)を継続展示。

・貴社施策のサッポロスマイル事業へ参加し、当社社員及び館内で働く委託事業者スタッフがスマイルバッジを着用しているほか、総合案内と展望台等にロゴやポスターの掲出をした。

・展望台空中エスカレーター部分に装飾を実施。

・札幌ドーム公式フィギュアを総合案内、展望台にて販売。

・総合案内や展望台受付を季節に合わせて装飾してお客さまをお迎えした。季節感を出して定期的に店舗装飾を変えることで、集客数やお客さまの注目度増が目的。

・当社自主イベントにおける当該来場者への展望台料金割引施策を行い展望台利用促進拡大を図った。(団体料金 7/27-28 大ほっかいどう祭り)

(半額料金 6/15-16、11/16-17 サッポロモノウレツ)

・5類移行後も、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、飛沫防止フィルムの設置継続や適宜消毒するなどし、観光客に不安を与えないよう努めた。

・国内ドームでは初めての展望台施設を活かすとともに、自主事業で行う「ドームツアー」と併せて、当社観光事業と位置付け、利用促進及びサービスの向上に努めた。

・外国人観光客の利便性向上や他の観光施設と連携した企画の実施、各種媒体での積極的な情報掲載などを通して、年間を通じて幅広い集客に努めた。

・コンサドーレとの連携強化を図り、フランチャイズイメージの向上に努めた。

・相互割引の全対象施設担当者との直接会話による情報交換等を行った。
・季節に合わせた企画や装飾を実施し、来場促進及びサービス向上に努めた。

イベントの実施支援については、要求水準である主催者への運営サポートのほか、イベントの告知を行う等、積極的な支援策を講じており、大変評価できる。展望台についてできる限りの営業日数・営業時間を確保するだけでなく、展望台を活用した自主事業の企画など、利用促進に向け積極的に取り組んでいる。

| | | | A B C D |
|---------|---|---|---|
| (6)付随業務 | <p>▽ 広報業務</p> <p>▼広報誌「ドームニュース」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は4月・6月・8月・10月の4回、A4表裏1ページの内容で発行し、イベント情報や大和ハウス プレミストドームの利用案内を告知するためのツールとしてその効果を発揮した。 ・館内や市区役所、JR主要各駅等に設置したほか、近隣世帯にはポスティングによる配布を実施した。 ・設置場所へのアンケート結果や、お客さまからもパーレスの推進する意見も寄せられていたことから、10月発行号をもって休止することとした。 ・、北海道コンサドーレ札幌の選手インタビュー等のドームニュースのコンテンツはWEBサイトにて引き継いで実施している。 ・12月からは、近隣世帯向けに隔月で「イベントカレンダー」の配布を実施し、イベント開催の周知を実施している。 <p>▼公式WEBサイト</p> <p>※令和6年度の表示回数 9,545,852回(前期比119.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報や新着情報など、担当部署との連携を密にし、迅速な情報発信を行った。 ・お問い合わせフォームの見直しを実施した。 ・アクセシビリティ試験にて適合レベルAAに準拠を達成していることを確認した。今後も継続して適合レベルAAの達成を目標にしていく。 <p>▼その他広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から実施している「大和ハウス プレミストドームオンラインリサーチ」を継続実施した。詳細は「1業務の要求水準の達成度(1)統括管理業務▽記録・モニタリング・報告・評価」を参照。 ・施設紹介・来場促進・来場者サービス・企業の取り組み等の周知を目的として、報道機関に向けたプレスリリース配信を11回実施した。 ・テレビ・新聞・雑誌等のメディアを活用した広報活動も適宜実施した。 ・ドームに親しみを持ってもらえる層を増やすためのPRツールとしてX、YouTube、LINEを継続して活用した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各種広報媒体の使用、また既存媒体のシステム、コンテンツ強化を図り、イベント情報や施設情報を、広く、分かりやすく市民へ提供した。 ・ドームニュースでは、情報提供だけではなく、お客さまのニーズに沿った情報提供を行った。 ・お客さまから寄せられたご意見やそれに基づく施設・設備等の改善結果をウェブサイトに公表することで、広報活動における、お客さまとの双方向コミュニケーションの強化を図った。 ・ウェブサイトを適宜見直し、各種情報発信の強化に努めた。 ・大和ハウス プレミストドームのことを知ってもらい、ファンを拡大するため、XなどのSNSを活用している。 | <p>全ての要求水準を達成していることから、「B」評価とする。</p> <p>小項目別の評価は以下のとおり。</p> <p>「広報業務」において、xなどのSNSを活用するなど、積極的な広報活動を行っていると言える。</p> |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | <p>▼メモリアルコーナー ・大和ハウス プレミストドームの歴史を記念品の展示で紹介するメモリアルコーナーに、これまでのイベント開催の軌跡として、歴代コンサートやスポーツイベントにまつわる記念品を展示した。また、企画展示として、「国際大会展」「高校野球展」「高校サッカー展」「さっぽろ雪まつり連動企画展示」を実施し、来場促進や、イベント来場者の満足度向上に努めた。</p> <p>▼マスコットキャラクター ・マスコットキャラクター「チャームコロン」をウェブサイトや広報誌に掲載するなど、広報業務において活用した。 ・マスコットキャラクターをウェブサイトや紙面で使用するほか、ノベルティやグッズを制作することで、利用者の興味・関心を高め、親しみをもって大和ハウス プレミストドームの情報に接してもらえるように工夫した。 ・チャームコロンの動くLINEスタンプを販売し、マスコットキャラクターの普及に努めた。</p> <p>▽ 著作権の管理に関する業務 ▼当社が大和ハウス プレミストドームを写真、模型、絵画、その他の媒体により表現する場合は、大和ハウス プレミストドームの設置目的を損なわないよう十分配慮した。また、第三者から当社が管理する大和ハウス プレミストドームの写真の使用申請があった場合には、適宜貸出を行った。</p> <p>▽ 公務視察対応 ▼今年度の公務視察対応は18件であった。</p> <p>▽ 保険の加入 ▼損害保険は来場者数、売上高、稼働設備の運転リスク等をもとにした「企業総合賠償責任保険」等に加入している。</p> | <p>公の施設として相応しい接遇を持って対応できた。現地視察のみではなく、映像素材などを利用し、施設概要を適切に理解していただくことができた。</p> <p>・損害保険は貴市が求める仕様を満たしかつ建築物の規模に応じた保険に加入し有事に備えている。</p> | <p>札幌ドームの著作権の管理にあたり、利用用途を適宜確認するなど、適切に実施されている。</p> <p>公務視察については、柔軟に対応しており、接遇等についても特に問題はない。</p> <p>札幌市が求める仕様を満たす保険に加入している。</p> |
|--|--|--|--|

2 自主事業その他

▽ 自主事業

▼自主イベント事業

今年度実施した自主イベントは以下のとおり。

・サッポロモノヴィレッジ(6/15、16、11/16、17)

共催:テレビ北海道

北海道内及び全国で活動するハンドメイド作家が集結するハンドメイドフェスティバルとして年2回の開催が定着した。

春期開催時は総来場者数26,083人、秋期は総来場者数26,340人となった。出店者数は2日間開催でき昨年度と比較しても、出店者も伸びてきており、来場者数も順調に伸びてきている。

・北ガスグループリレーマラソンin札幌ドーム2024(7/15(月・祝))

共催:テレビ北海道

6時間部門を廃止し、名称も変更とした。参加チーム725チーム、参加者数5,125名、来場者数16,022名の参加となり、昨年の来場者数を大きく上回ることが出来た。今期より6時間部門を廃止し、42.195キロの部とミニマラソン(10キロ)の2部門での開催とし、伸び悩んでいた6時間を部門を集約し、ライト層の集客に努めた。全体的に昨年度よりは増加したものの、コロナ前の水準には届いていない状況である。

・大ほっかいどう祭(7/27・28)共催:札幌テレビ放送

大ほっかいどう祭は食、物産、観光などのカテゴリーを特化せず、「ひとつじゃない北海道の魅力」を満載に詰め込んだイベントとして令和5年に初開催し、今年度は、「北海道の元気と底力」を体感するイベントとして、規模を拡大し、2日間で26,556名のご来場を頂いた。市町村の名産品、観光PRブースなど出店が伸び悩み、当日券の券売状況も昨年と比較して伸び悩んだ。しかし、縁日、やぐらステージなどで大ほっかいどう盆踊りを開催し地域のご当地キャラも大勢参加し、来場者満足度はアンケート調査でも好評であった。

・そらまめ環境グループ“まめフェス”presentsふわふわアドベンチャー inプレミストドーム(1/11~13)

コロナ禍以降2度目の開催となった。開業以来継続して開催しているファミリーイベントであり、冬期間に、巨大エア遊具等で体を動かすことのできる機会となり、昨年を大きく上回り3日間で46,519人の来場しゃとなり、多くのご家族連れでにぎわった。昨年に比べコンテンツの充実が測れたので来場者も大きく伸びる結果となった。

▼飲食事業

・当社と委託事業者で設立した「札幌ドーム飲食事業者協議会」が貴市と「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を継続締結した。

・委託事業者に対して食品衛生講習会や定期的・継続的な検査等により、衛生管理レベルの維持向上を図り、安全な食事の提供に努めた。

・「食中毒事故の防止」を最優先事項とした取り組みを飲食委託事業者と伴に協議し実施した。

【実施事例】

・衛生コンサルタントによる衛生講習会(10月、3月)

・飲食売店厨房衛生検査(9月、2月)

・販売商品抜き取り微生物調査(5月、9月)

・賞味期限チェックリストによる商品確認と記録(各売店/毎営業日)

・従業員健康状況(熱・下痢他)の確認と記録(各売店/毎営業日)

・大和ハウスプレミストドームの設置目的に貢献するため、自主イベントを開催して、市民の皆様が気軽にスポーツやイベントに参加できる機会を創出している。開業以来大和ハウスプレミストドームを管理運営する企業として蓄積したノウハウを活かし、イベントのレベルアップを図るだけではなく、新規イベントの開催にも力を尽くしている。

A B C D
自主事業については、これまで実施した実績があるものに加えて、大和ハウス工業株式会社とのネーミングライツ契約により、広告媒体として収益向上に努めた点は評価できる。

・食の安全を最優先して衛生管理を徹底したうえで、お客さまのニーズを反映して、売店の新メニュー企画、キャンペーン展開を行い、来場者サービスの向上を図った。
・北海道コンサドーレ札幌と協力したメニュー企画を行うことで、来場促進に寄与し、さらに食のエンターテインメント性を高めた。

飲食事業において、衛生管理を徹底し、利用者のニーズに応じた商品開発や北海道コンサドーレ札幌と協力したメニュー開発を行うことで、利用者サービスの向上に努めている点は評価できる。

・北海道コンサドーレ札幌と協力した売店メニューの販売やコンセプトに沿ったキャンペーンを実施した。年間計画を共同で立案するなど、連携を深めながらSNS等の告知媒体を活用し実施した。

【実施事例】

＜北海道コンサドーレ札幌＞

- ・「コンサドーレ太鼓判メニュー」を販売
- ・「コンサドーレ必勝弁当」を販売

～上記連動販促企画～

- ・「選手カード」「直筆サイン入ホログラムカード」を配布
- ・ドリンクメニューは「コンサドーレとのコラボカップ」で提供
- ・「コンサドーレスクラッチキャンペーン」を実施
- ・「コンサエール」(オリジナルビール)を販売
- ・「ビール半額デー企画」を実施

＜変化に応じた来場者サービスの提供＞

- ・ポップアップ展開していた売店を通年営業する運営形態に変更するとともに同店によるフードワゴン出店を追加した。
- ・コカコーラによるドリンク専用ワゴン出店を追加した。
- ・アリーナでの臨時出店に際してキャッシュレス決済を可能にした。

▼物販事業

- ・北海道コンサドーレ札幌による試合時の店舗営業にあたって、当社保有の物販用什器・備品類貸与を行った。あわせて、年間を通じて納品・売場準備に伴うスケジュール調整、大型POP制作代行等の全面的なサポートを行った。
- ・コンサート興行等に伴う主催者による物販にあたっては、適正な販売管理手数料、備品使用料や釣銭手配手数料を徴収した。

・直営の物販事業として、観光営業時には、ドームオリジナルグッズを総合案内で販売するとともに、コンサート興行日は館内コンコースにてワゴンにてオペラグラスを販売するなど、利用者ニーズに応じた商品を販売し来場者サービスに努めるとともに、アルバイトスタッフへの雇用機会を創出し雇用の確保・継続に努めた。

▼広告事業

- ・大和ハウス工業株式会社さまとネーミングライツ契約を締結することでの収益向上および愛称「大和ハウス プレミストドーム」の露出、認知度向上に努めた。
- ・大和ハウス プレミストドームの広告媒体としての価値を有効活用して収益向上に努めた。
- ・コンサドーレと調整をし設置した、バックスタンド側フェンスLEDにおいて、広告としての収益だけではなく、演出面においても有益で、スタジアムとしての魅力向上に努めた。
- ・ファイターズ移転により、フェンス広告の露出が少なくなったことから、令和5年2月より新設したコンコース壁面やトイレ内等の広告枠の販売を推進し価値向上、収益向上に努めた。

・コンサドーレ戦における館内演出、売上、施設イメージの向上に寄与した。

・来場者に対する食の提供と利便性向上に努めた。

・主催者様による物販をサポートするとともに、収益確保に努めた。
・観光来場者向けのグッズ販売やコンサート時のオペラグラス販売などの直営物販は継続し、来場者サービスに務めた。

・大和ハウス プレミストドームの高い露出度を活かし、企業の皆さまが広告価値を得られるよう努めた。

広告媒体としての大和ハウスプレミストドームの価値が最大限活用されるよう、広告掲出企業との調整を実施している。

▼ドームツアー事業

・収益性を考慮し、主に団体予約を受けた日のみを営業することとし、事業をスリム化したが、展望台運営事業とあわせ、札幌の観光拠点としての役割を果たすよう努めた。

・海外向け観光案内媒体への出稿やウェブサイトの翻訳機能、多言語案内可能なデジタルサイネージの設置により、海外からの観光客の取り込みを行った。

・札幌市内の観光9施設と相互割引企画を継続実施した。(さっぽろテレビ塔、さっぽろ羊ヶ丘展望台、札幌もいわ山ロープウェイ、北海道開拓の村、北海道博物館、大倉山展望台、札幌芸術の森、札幌市時計台、タワー・スリーエイトJRタワー展望台)

・フランチイズ色をより強めるためドームツアーコースに北海道コンサドーレ札幌のロールスクリーン装飾を継続し、メインロッカーである3塁側ロッカーも見学コースに含め、実際の選手ロッカーをよりリアルに感じてもらいお客様の満足度向上を図った。

・北海道コンサドーレ札幌との連携強化を兼ねた集客施策として、クラブコンサドーレ会員向けの優待料金設定に対し、両社による告知展開を継続実施した。

・通常のドームツアーに加え、学習を目的とした20名以上の小学生団体へ向けた、「大和ハウス プレミストドーム環境ECOツアー」を実施。主に、プレミストドームのECO活動を中心にご案内するツアー。諸室見学ではなく学習をメインとするツアーは、受け入れ可能日の増加に繋げるのを目的とすると共に、お客様に見学の選択肢を拡大しお楽しみいただけている。(例年行っている近隣小学校5年生に向けた展望台招待事業の中で、試験的に合わせてこの環境ECOツアーを実施した)

・物販直営店舗閉店に伴い、プレミストドームオリジナル商品を総合案内(ドームツアー受付)にて販売。

▼チケット販売・管理事業

・当社管理のもと、プレイガイド各社や(株)コンサドーレに販売委託するなどし、前売り駐車券の販売管理を確実に遂行した。また、当社自主事業においては各種発券対応を内製化しプレイガイドへの委託と比較しコスト削減に寄与した。

・コンサート開催時のシャトルバス運休に伴う代替アクセス方法として普通車駐車券の販売を行い、来場者ホスピタリティー維持・向上に努めた。

▼友の会組織(メンバーズクラブ)事業

※令和7年3月末現在 会員数 9,050人

・カード会社との連携により、チケット購入を効率的に行えるサービスやカード会社のサービスを提供した。

・カード会社により、会員の皆さまの個人情報が高いセキュリティレベルのもとで管理した。

・友の会組織「札幌ドームメンバーズクラブ」の会報誌「DOMESTIC PRESS (ドームプレス)ウェブ版」やメールマガジンにてイベント開催情報やチケット販売等の告知ツールとして、来場促進、来場者サービスの一翼を担った。

・利用促進キャンペーンを実施し収益向上、会員離脱予防に努めた。

【利用促進キャンペーン実施例】

・カードショッピング利用額に応じた商品プレゼント。

・会員向け企画の実施により、会員組織に対する商品価値及び知名度の向上を図った。

【会員向け施策の実施例】

駐車券や自主イベント参加券の会員向け優待価格販売を実施した。

メンバーズクラブ会員の高額利用者向けにギフトカードプレゼントキャンペーンを実施。

・札幌市内の観光施設と連携して相互割引企画を継続実施するなど、札幌を代表する観光拠点の一つとして、施設の魅力を効果的にPRした。

・北海道コンサドーレ札幌との連携強化を図り、フランチイズイメージの向上に努めた。

・予約制を導入することで事業をスリム化した。

・チケットの配券・販売・精算管理業務までを総合的に行い、主催者さまへのサポート体制を整えることで、有料イベント誘致にも寄与している。

・友の会組織事業では、ウェブサイトやメールマガジンを利用し、イベント情報とともにチケット販売情報を詳細に広報することで、お客さまへのサービス向上とイベントチケットの販路拡大に繋がった。

・会員が優待になる企画を実施するなど会員サービスの向上に努めた。

札幌市を代表する施設として、観光客向けの取組を効果的に実施している。

来場促進や利便向上に向けた様々な改善を行っており、利用者サービスの向上に努めている。

▼地域貢献事業

・「近隣小学校環境啓発事業」の実施(2日間)

大和ハウス プレミストドームの近隣に住む子どもたちに、大和ハウス プレミストドームをより身近に感じてもらうとともに、環境問題や地域への関心を高める機会を提供するため、周囲約1.5km圏内にある小学校の5年生をドームツアー「環境ECOツアー」に招待し、当社のSDGs、環境への取り組み等について説明(参加者数:羊丘小学校、月寒東小学校 計190名)

・近隣小学校の校外学習の受け入れ(1日)

近隣小学校の地域を学ぶ教育の一環として、子どもたちが大和ハウス プレミストドームの敷地と展望台を遠足で訪れ、小学生全校児童と教員が来場した(参加者数:福住小学校1~6年生 計641名)

・「野鳥観察会」を実施

(株)コンサドーレと連携し、試合開催日に敷地内での野鳥観察会を実施(9月1日/参加者数「野鳥観察会」18名)

・「グリーンキーパー+サッカー体験会」を実施

豊平区、(株)コンサドーレ、当社の3者連携により、競技の魅力や興味の向上、裏方スタッフの仕事体験を通じて「働く楽しさ」を学ぶことを目的に、グリーンキーパー+サッカー体験会を開催した(参加者数:豊平区内小学1~3年生 計13名)

▼トレーニングルーム関連事業

・積雪期間におけるスポーツ機会の創出のため、3階コンコースをランニングコースとして開放する「ナイトラン」を35日実施し、2,476人(前期比:9日減・942人減)が利用し、利用者が安心してランニングができる環境づくりに努めた。

・前後・左右・上下の3D高速振動により筋肉を刺激・活性化し、運動効果を最大限に高めることができるマシン「パワープレート」を導入している。

・各種マシン利用の他に、パートナーストレッチ、パワープレート(指導付き)、体組成計測の有料サービスを導入・実施している。

・正確な身体情報をもとにより細かいカウンセリングを実施するための体組成計、身体の傾きや歪みを測定できる姿勢測定、体重のかかり方や負担の大きい箇所を測定できる足圧測定を実施した。

・利用者に対し、利便性向上のため、トレーニングルーム内の券売機は電子マネー対応のものを設置している。

・環境、ネイチャーポジティブ、スポーツや仕事などをテーマにした啓発企画を実施し、「地域の一員」として地域社会の発展に貢献できるよう取り組んだ。

・ナイトランや運動教室など、市民の方々に気軽にスポーツができる機会の創出づくりに積極的に取り組んだ。

・トレーニングルーム利用者へのサービス向上のため、パワープレートやパートナーストレッチなどのサービスを自主事業として実施した。

・券売機は電子マネー対応のものを設置し、利用者サービス向上に努めている。

・換気・消毒等を引き続き実施し、利用者の安全安心な利用環境の提供に努めた。

校外学習の受け入れなど、施設の設置目的の達成及び地域貢献に積極的に取り組んでいる。

ナイトラン及び運動教室の実施など、トレーニングルームの来場促進に努めている。また、利用者のニーズを的確に捉え、自主事業として様々なサービスを実施するなど、利用者満足度の向上に向けた取組を実施している。

| | | |
|---|--|---|
| <p>▼敷地等利用事業 〈ゆきひろば〉 ・積雪期間に閉鎖しているサッカー練習場付近の敷地を「ゆきひろば」として無料開放した(スノーラフティングのみ有料)。スノーラフティング・雪上ストラックアウト・雪上キックターゲット・雪上ラグビー等の雪遊びアイテムを用意した。のぼり旗を活用し、楽しい雰囲気づくりに努めた。大和ハウス プレミストームでのイベント開催の都合や天候事情等により、前年と比較し開放日数は減少した。(開放日数21日 利用者数2,842人) ・今年度のゆきひろばは、小学生の冬休み期間を開放期間のメインとし、内容もより小学生を意識した安全で楽しめるコンテンツとして運営し、利用者サービスに努めた。 ・さらに、初開催のさっぽろスノースポーツパークイベントとの連携事業として利用者の満足度向上を図った。</p> <p>〈スケートボードエリア〉 屋外人工地盤南側(2階エリア)の「スケートボードエリア」を降雪前の10月まで無料開放した。 スケートボードのほか、BMX・MTB・ランニングバイクも使用可能とし、アーバンスポーツの普及に貢献した。 (開放日数151日、利用者数722人)</p> <p>・屋外人工地盤南側(2階エリア)・オープンアリーナに「距離表示サイン」を施し、ランニング・ウォーキングの参考になるようにしている。 ・樹木に、それぞれの木の名前がわかるようプレートを設置している。プレート記載のQRコードから専門WEBサイト「Web植物辞書「花ペディア®」」へ誘導され、より詳しい情報を入手することができる。散歩の楽しみが増えたと、散歩の方からも好評である。 ・おさんぽMAP「植物版」「生き物版」「アート版」の3種を無料配布している。</p> <p>▼札幌ドーム3D管理事業 「札幌ドーム3D利用規程」に則り、コロナ禍以来需要が高まっている札幌ドーム3Dデータを適切に運用している。</p> | <p>・非イベント日や冬期間の来場促進のため、広い敷地と豊かな自然を活用した企画を実施した。</p> <p>3Dデータについて、貸出や管理の体制を整え、適切に運用している。</p> | <p>冬場の「ゆきひろば」の開放や、スケートボードエリアを夏場に開放するなど、非イベント日においても敷地内を有効活用し、来場者促進・魅力発信に努めている。</p> |
| <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼市内企業の活用に関し、専門性の高い業務は札幌市内に本店または支店営業所のある企業14社に対し再委託を実施した。</p> <p>▼令和6年6月1日現在の障害者雇用率(実雇用率)は、1.69%、不足数は0人であった。</p> <p>▼障がい者就労支援施設等に対して、印刷物の発注を行った。</p> | <p>・市内企業の活用については業務計画のとおり実施した。</p> | <p>市内企業の活用については計画のとおり実施している。</p> |

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

| | |
|--------------------|-----------------------------------|
| 実施方法 | ドームツアー・展望台来場者にアンケート用紙を配布(500名が回答) |
| 結果概要 | ・総合満足度、接客満足度ともに9割を超え、良い評価をいただいた。 |
| 利用者からのご意見・ご要望とその対応 | ご意見、ご要望は別紙のとおり。対応については次回実施に向け検討中。 |

| | |
|--------------------|--|
| 実施方法 | トレーニングルームについては新規利用者を中心にアンケートを実施(104名が回答) |
| 結果概要 | 10代～60代と幅広い層に興味をもつていただいております。豊平区、清田区、白石区で76%と近隣にお住まいの方に多くご利用いただいております。アンケート回答の年代別では60代以上が最も多く26%。アンケート全体では40～60代が66%を占め、スポーツを通じた健康増進に貢献している。また、総合満足度、接客満足度ともに9割を超え、良い評価をいただいた。 |
| 利用者からのご意見・ご要望とその対応 | トレーニングルーム内にコミュニケーションコーナーを設置して随時ご意見・ご要望を収集し、独自のクレームマネジメントシステムを活用して協議・検討をおこない、解決に向け取り組んでいる。 |

・観光来場者とトレーニングルーム利用者へアンケートを実施し、利用されたお客さまからは、内容・接客ともに高い評価をいただいております。一定の利用者満足度が得られたことが確認されました。

| A | B | C | D |
|---|---|---|---|
| 管理運営業務の利用者満足度の調査における調査標本数については、総合満足度及び接客に関する満足度の目標値を80%としているところ、総合満足度、接客満足度ともに9割を超え、要求水準の10%を超える評価であったことから、『A』評価とする。また、自主イベントにおいても利用者からの意見・要望を収集し、意見改善に努めている点も評価できる。今後も利用者の意見・要望を踏まえた事業の実施、サービスの維持向上が図られることを期待する。 | | | |

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

| 項目 | R6年度計画 | R6年度決算 | 差(決算-計画) |
|-----------------------------|-----------|-----------|----------|
| 収入 | 1,822,677 | 1,887,164 | 64,487 |
| 指定管理業務収入 | 1,195,333 | 1,325,761 | 130,428 |
| 指定管理費 (光熱費高騰分) | 95,726 | 62,170 | ▲ 33,556 |
| 利用料金 | 845,370 | 782,220 | ▲ 63,150 |
| その他 | 254,237 | 481,370 | 227,133 |
| 自主事業収入 | 618,544 | 551,424 | ▲ 67,120 |
| 受託事業収入 | 8,800 | 9,979 | 1,179 |
| 支出 | 1,814,172 | 1,843,087 | 28,915 |
| 指定管理業務支出 | 1,514,230 | 1,569,608 | 55,378 |
| 自主事業支出 | 291,143 | 263,500 | ▲ 27,643 |
| 受託事業支出 | 8,800 | 9,979 | 1,179 |
| 収入-支出 | 8,505 | 44,077 | 35,572 |
| 利益還元 | 300 | 244,410 | 244,110 |
| 1管理運営経費充当 | 0 | 130,819 | 130,819 |
| 2消費税減収補填 | 0 | 0 | 0 |
| 3アマ大会支援 | 0 | 113,028 | 113,028 |
| 4招待事業等貢献 | 0 | 0 | 0 |
| 5改修工事等 | 300 | 563 | 263 |
| 6保全小規模修繕 | 0 | 0 | 0 |
| 7その他利益還元 | 0 | 0 | 0 |
| 利益還元後の収支 (収入-支出-4-5-6-7) | 8,205 | 43,514 | 35,309 |
| 法人税等 | 530 | 530 | 0 |

▽ 説明

<貸館事業>

イベント利用日数および来場者数が増加し、貸館事業の売上高は12億43百万円(前期比47.1%増)となった。

<商業事業>

主にコンサートの利用日数が減少したことにより物販事業に影響し、商業事業の売上高は1億75百万円(前期比59%減)となった。

<観光事業>

イベント利用日数の増加により営業日数が減少したことから、観光事業の売上高は3百万円(前期比50.2%減)となった。

<その他事業>

チケット事業は減収となりましたが、イベント利用日数の増加およびネーミングライツ契約の締結により、駐車場、広告事業は増収となった。

<その他営業収益>

3億64百万円(前期比57.0%増)となった。

各種新規イベントの誘致により利用日数が大幅増となったこと、またネーミングライツ契約を締結したことにより、貸館事業及び駐車場・広告事業を含むその他営業収益は大幅な増収となった。具体的な新規イベントとしては、国際的なeスポーツイベント、カードゲームの大会、秋季の花火大会、積雪のある時期のマラソン大会など、より広い層のお客様にお楽しみいただける各種イベントの開催が実現した。一方で、観光事業は、イベントの利用日数の増加により営業日数が減少したことによる減収となった。

また、販管費及び一般管理費については、さらなる固定費等の見直しを進めた。

| A | B | C | D |
|---|---|---|---|
| 収入は各種新規イベントの積極的な誘致活動や、ネーミングライツ契約の締結により、計画比約6千万円増、支出についてもこれに伴い約3千万円増となったが、収支差(収入-支出)は計画値を上回る約4千万円となった。 | | | |
| また、自主事業による収益について、管理運営費用への充当やアマ大会支援に充てるなど約2億4千万円の利益還元を実施したことから『B』評価とする。 | | | |

| ＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。 | | | | |
|--|----|---|---|----|
| <p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>▼今年度の減益分は内部留保の取り崩しによって賄っている。</p> <p>▼開業以来借入金もなく、良好な財務状況である。</p> <p>▼来年度の黒字化により、財務状況の健全化を維持する取り組みを行うとともに、予算実績管理を定期的に行い、営業利益に応じた予算の修正を適宜行っている。</p> | / | <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">適</td> <td>不適</td> </tr> </table> | 適 | 不適 |
| 適 | 不適 | | | |
| <p>▽ 個人情報保護法、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>▼個人情報については、各種法令及び社内規程を遵守するとともに、貴市の定める個人情報取扱安全基準に従い、安全管理対策を適切に実施している。なお、今年度は、貴市基準に則って、社内規定を更新し、さらなる管理体制強化に努めた。</p> <p>▼情報公開について、6月に当社ホームページにおいて財務諸表等の公開を実施している。</p> <p>▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。</p> | / | <table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">適</td> <td>不適</td> </tr> </table> | 適 | 不適 |
| 適 | 不適 | | | |

Ⅲ 総合評価

| 【指定管理者の自己評価】 | |
|---|--|
| 総合評価 | 次年度以降の重点取組事項 |
| <p>イベント利用日数は、前期を大きく上回る129日(前期比31日増)となり、それに伴いイベント来場者数は111万2千人(前期比11.6%増)となった。売上高は17億87百万円(前期比5億15百万円増)となり、北海道日本ハムファイターズが北広島に移転してから2年目にして、増収を達成した。</p> <p>具体的な施策としては、札幌市との連携をより強化させ、大和ハウス プレミストドームの魅力と価値を高めるための取り組みを積極的に進めるとともに、大和ハウス プレミストドーム開業30周年を迎える2031年に向けてのありたい姿として掲げた長期ビジョン『SV-31』の実現に向けて、今年度を最終年とする3ヶ年計画『中期経営計画2024』における「主催者連携による利益最大化」「多様な価値や変化への対応」「社員の成長・スキルアップ」「親しみのある地域のシンボル」「環境にやさしい企業」「新たな市民文化の共創」という6つの基本戦略からなる中期経営方針のもと、引き続き事業活動を進めてきた。</p> <p>■主催者連携による利益最大化 株式会社コンサドーレ様と連携し、北海道コンサドーレ札幌戦における集客施策を企画・実施したほか、新規イベント誘致によるコンベンション年30日開催の実現、新モードイベントの開催、ネーミングライツ契約締結など、収入確保の取り組みを推進した。</p> <p>■多様な価値や変化への対応 国際的なeスポーツイベントを誘致し、ゲームのまちとしての札幌市のPRに寄与したほか、館内飲食売店等におけるコード決済の取り扱いラインナップを追加するなどの対応を行った。</p> <p>■社員の成長・スキルアップ 良好な社内コミュニケーションの促進のため社員面談(階層別ヒアリング)を実施したほか、社員の採用による運営体制の強化や、育児休業規則や在宅勤務ガイドラインの改正によるワークライフバランス向上に取り組んだ。</p> <p>■親しみのある地域のシンボル 冬の札幌の新たなシンボルを目指し、さっぽろ雪まつり特別連携行事として「JALさっぽろスノースポーツパーク2025」を開催したほか、SNSの企業間連携などを活用し、これまで大和ハウス プレミストドームと接点の少なかったお客さまへの効果的なアプローチを行った。</p> <p>■環境にやさしい企業 主催者様、事業者様と連携した来場者の皆様へのごみの分別協力の呼びかけなど、ごみやCO2の排出量削減に向けた取り組みを継続して実施した。</p> <p>■新たな市民文化の共創 前年度に引き続きラグビー日本代表戦を開催したほか、ジャパンラグビーリーグワンの公式戦を2試合開催し市民のラグビー観戦文化に寄与した。</p> | <p>今年度はイベント利用日数・来場者数の増加及び売上高の増収を達成したが、引き続き指定管理者としての適切な業務遂行に努めるとともに、魅力ある大和ハウス プレミストドームとして価値を高めるための取り組みを積極的に進めていく必要がある。</p> <p>来年度は、新長期ビジョン『SV-31』の実現に向けた3ヶ年計画『中期経営計画2027』の1年目となることから、新たな企業価値の確立のため「主催者連携による利益最大化」「多様な価値や変化への対応」「社員の成長・スキルアップ」「親しみのある地域のシンボル」「環境にやさしい企業」「新たな市民文化の共創」という6つの基本戦略に基づき、事業活動を着実に推進していくことによって自立した経営を目指し、大和ハウス プレミストドームを適切に維持管理していく。</p> <p>■主催者連携による利益最大化 株式会社コンサドーレ様との連携による集客事業の継続・今強化を図るほか、札幌市や地元スポーツ団体様と連携したサッカーやラグビーの国際試合誘致の推進、イベントの新規利用や継続開催に向けた営業活動の強化、大和ハウス工業株式会社様とのネーミングライツ価値の最大化など、さらなる収入確保に向けた取り組みを推進する。</p> <p>■多様な価値や変化への対応</p> <p>■親しみのある地域のシンボル</p> <p>■新たな市民文化の共創 文化イベントやアマチュアスポーツ大会などの集客交流イベントや市民参加型イベント、子ども向けイベント・企画など、多彩なイベントの開催を通して新たな来場者呼び込むことで、身近で親しみやすい地域のシンボルを目指す。また、オンラインリサーチ等と通じて利用者ニーズを的確に把握し、サービスの質の向上に努める。</p> <p>■環境にやさしい企業 再生可能エネルギーの導入に向けた実現可能性調査を進めるとともに、株式会社コンサドーレ様との連携事業「PASS」を通じて環境啓発活動の展開を継続する。また、全社員がSDGsを意識し、環境に優しい取り組みを積極的に推進することで、企業の社会的責任を果たしていく。</p> <p>大和ハウス プレミストドームはこれまで多くの市民の皆様を支えられ、当社も地域社会と共生する企業としての価値を高めるよう努めてきた。今後も賑わい愛される施設、そして信頼される企業を目指し、スポーツの普及振興および市民文化の向上ならびに地域経済の活性化に一層寄与できるよう総力を結集して邁進していきたい。</p> |

| 【所管局の評価】 | |
|--|---|
| 総合評価 | 改善指導・指示事項 |
| <p>仕様書で定める項目において、概ね要求水準を満たしており、適切に管理運営業務を遂行している。</p> <p>収支については、ネーミングライツ契約の締結やイベント開催日数の増加、サービスレベルが低下しない範囲での経費削減により前年度と比較して大幅な増収増益となったことは評価できる。</p> <p>また、eスポーツ世界大会やJAL さっぽろスノースポーツパーク 2025等の新たな大規模集客イベントの開催支援を行い、施設の新たな活用、地域経済の活性化に貢献することで、施設の設置目的の達成に寄与する管理運営を行っているものと評価できる。</p> <p>更に、運営協議会では周辺地域の方々を委員として選定し、地域に根差した施設運営に向けた各種協議に加えて、施設見学会やJALさっぽろスノースポーツパーク2025での地域と連携した取組を実施したことも評価できる。</p> | <p>今後は更なる収支改善によって、アマチュア大会支援や利用者サービスの向上に向けた施設改修などの利益還元が実施されるとともに、施設の設置目的の達成に向けた様々な取組が展開されることを期待する。</p> |